



# 造形秋田

NO.55 (平成30年度)

2019.4



秋田県教育研究会造形部会  
秋田県造形教育研究会

## 全国をリードする秋田の底力！

秋田県造形教育研究会

会長 永井 孝久

平成30年度「造形秋田」の発刊にあたり、編集及び執筆に携われた皆様のご協力に心から感謝申し上げます。今年度の秋田県造形教育研究会の活動及び各地区造形研究会における活動に際しましては、皆様の児童生徒・学校・地域に寄せる熱気みなぎる情熱に心から敬意を表します。

さて、7月30日・31日の「第71回全国造形教育研究大会秋田大会」には全国各地（海外からも）からたくさんの造形教育関係者が来県してくれました。地方圏の開催においては驚くほどの数の参加があったと自負したいです。新学習指導要領がまもなく完全実施されようとしているなか、「秋田では、すでにこれからの美術教育をもう実践しているといつて良い。」と評してくださる方もおりました。秋田の高い学力を図工・美術でも裏付けられたことに、授業者はもちろんです。開催に当たっての関係各位のご尽力に感謝いたします。私は、情操面を育てるこのような教科の実践が、秋田の教育の充実の根底にあるものと考えています。今回の全国大会開催を機に、秋田の底力を今後もしっかりと支えていきたいものです。

平成30年度第59回秋田県児童生徒美術展は、今回も秋田市文化会館での開催となりました。今年も、秋田市会員の多大なるご協力があった開催でありました。感謝いたします。

今回も児童生徒の作品から伝わる思いやエネルギーには圧倒されるものがありました。子どもたちの可能性のすごさには驚かされっぱなしでした。来場された皆さんも独特な雰囲気を感じられたのではなかったでしょうか。

来年度はこの美術展開催も第60回を迎えることとなります。今回、理事会に於いて理事の中からこの美術展の在り方について意見が出されました。長い歴史に支えられたこの美術展の展望については全県各地の会員の皆様からも意見を聞きたいと考えています。

これまで、秋田の子どもたちのために多くの先生方が、ただひたすらにそして誇りを持ってこの事業に携わってきました。「不易と流行」という言葉があります。「変えていけるものは何か？」「どんな状況でも継続させなければならないことは何か？」という視点で、美術展について今後検討してまいります。

## 目次

### 巻頭言

全国をリードする秋田の底力！

各都市造形教育研究会の活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第59回 秋田県児童生徒美術展・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

第59回 秋田県児童生徒美術展 話題作一覧・・・・・・・・・・ 12

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

# 各都市造形教育研究会の活動報告

## 組織

会長 北林 孝男 (大湯小学校)  
 副会長 関 清志 (花輪第一中学校)  
 事務局 高杉 雅子 (大湯小学校)  
 研究部 関 清志 (花輪第一中学校)  
 会計 海沼 智恵子 (十和田小学校)

## 主な事業

平成30年度総会  
 (十和田中学校／4月20日)

県児童生徒美術展鹿角地区審査会  
 (文化の杜交流館コモッセ／12月11日)

鹿角小・中・高合同美術展 (コモッセ／1月17日～1月22日)  
 作品を見合う会 (同／1月22日)

## 研究会(事業)の記録

## 県児童生徒美術展鹿角地区審査会 (12/11)

今年度は、小・中合わせて191点の作品が出品され、そのうち57点の作品が優良作品に選ばれた。また、県審査では、55点の作品のうち、小学校6点、中学校4点の合計10点が推奨・話題作(推奨7点・話題作3点)に選出された。どの作品も児童生徒の思いのあふれた伸び伸びとした作品であった。立体作品が少なかったのが残念であった。



【鹿角地区審査会の様子】

## 鹿角小・中・高合同美術展 (1/17～1/22), 作品を見合う会 (1/22)

今年度で30回目となり、鹿角市文化の杜交流館「コモッセ」に会場を移してから4回目の小・中・高合同美術展を開催した。小・中学生の作品191点のほかに、高校生の作品10点も展示され、多くの来場者に見ていただくことができた。





## 組織

会長	永井 孝久	(山瀬小学校)		
副会長	嘉藤 貴子	(鷹巣南中学校)	木村 伸	(比内中学校)
	藤島 聖人	(綴子小学校)		
事務局	佐々木 亜希子	(東中学校)	コリガン麻衣	(第一中学校)
研究部	工藤 明美	(鷹巣中学校)	三澤 正敏	(山瀬小学校)
	藤島 幹子	(上小阿仁小学校)		
会計	山崎 真紀子	(比内中学校)	佐々木 由美	(北陽中学校)

## 主な事業

大北造形研究会総会 (4/12)  
会場：田代公民館

全国造形教育研究大会秋田大会に参加 (7/30~31)  
会場：市内各会場

秋田県児童生徒美術展地区審査会  
素描集「北の造形」第51集審査会及び研修会  
(11/30) 会場：田代公民館

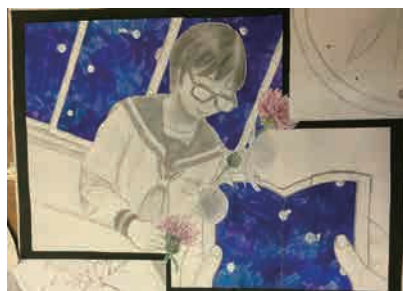
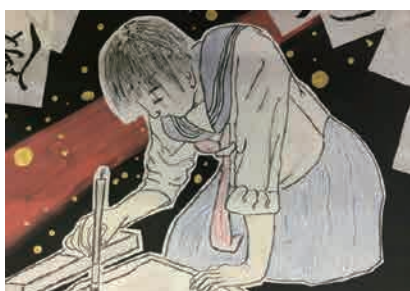
第41回絵を見て語る会 (1/18)  
素描集「北の造形」第51集発刊・配布  
大北造形研究会最終理事会会場：田代公民館

## 研究会の記録

絵を見て語る会も41回目を迎えた。これは、地区審査を通過し県の美術展に出品された作品を鑑賞しながらその指導方法や絵のよさについて語り合い、今後の指導に生かすという研修会である。

中学校では毎年、どの学校でも自画像の題材に取り組んでいる。同じ題材でも、どのようなテーマで取り組むかで、全く趣向の異なる作品となる。以下は各学校で取り組んだ自画像の作品である。生徒一人一人にいかに関心の主題をもたせられるか、また既習事項やアイデアをどのように作品に生かせるかが重要となる。見た目を写實的に描くことに終始するのではなく、内面を深く掘り下げ表現できる作品作りにつなげていきたい。

### 【各校から出品された3年生の自画像作品】



## 組織

会長	伊藤 互	(東雲中学校)			
副会長	長浜 笑子	(能代第二中学校)	木村 伸	(比内中学校)	
会計監査	芹田 亨	(常盤中学校)	越前 芳広	(金岡小学校)	
事務局	渡部 悦子	(東雲中学校)			
理事	越後谷 知子	(崇徳小学校)	伊藤 葉子	(第四小学校)	
	伊藤 康子	(森岳小学校)	岩谷 修一	(八竜中学校)	
研修班	田中 絵里奈	(能代第一中学校)	芹田 亨	(常盤中学校)	
	越前 芳広	(金岡小学校)	小森 哉子	(常盤小学校)	
	大沼 護	(山本中学校)			

## 主な事業

第71回全国造形教育研究大会秋田大会  
(7/30・31)

秋田県児童生徒美術展審査会 (12/13)

授業研究会三種町立森岳小学  
「くしゃくしゃランドへようこそ」(1年生)  
(11/20)

県北地区高校美術作品展への出品協力  
「小・中・高連携による造形活動」  
(1/18～20)

企業との連携  
全国児童生徒木工工作コンクールへの出品

## 研究会の記録

### 全国造形教育研究大会秋田大会

7月30日・31日に開催の「第71回全国造形教育研究大会秋田大会」に向けて、総務・運営・研究の各部門ごとに分かれて、研修や準備等を進めてきた。

能代山本地区からは、秋田大学教育文化学部附属小学校を会場に、常盤小・小森哉子教諭が「でこぼこ画面を冒険しよう～思いを色にのせて～」(5・6年生)、また、平成29年度から共に研究を進めてきた授業者として、秋田市立明德小学校を会場に、鷹巣東小・豊田良香教諭が「もしもこんな世界に～トントンつないで～」(4年生)の公開授業が行われた。その後の授業分科会では、グループ協議形式で全国の先生方との活発な意見交換が行われ、とても有意義な研究大会となった。

### 授業研究会

森岳小・安田卓子教諭に授業提供いただき、題材名「くしゃくしゃランドへようこそ」(1年生)の授業研究会を実施した。色薄紙をくしゃくしゃにし、できる形や色の組み合わせなどを試し、表したもののイメージを広げる表現の授業であった。

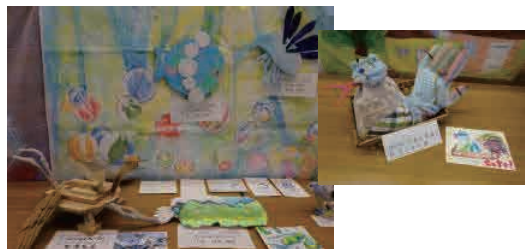
「形・色・組み合わせ」を『がんばり3ポイント』として提示し、学びを焦点化して深めていた。そして、作品を飾りたくなるような場“くしゃくしゃランド”を設定し、児童の意欲を喚起していた。研究会では、様々なことを価値付ける教師の言葉掛けや、色や形などの「造形的な視点」を意識させる手立てなどが話題になった。



【授業研究会森岳小学校の授業風景】

### 県北地区高校美術作品展への出品協力

各校で児童生徒にワークショップを展開し、高校生がシーツに描いた平面作品から児童生徒各自がイメージを膨らませて、作品の中で泳ぐ「海の生物」を制作した。また、1月の県北地区高校美術作品展では、高校生が小・中・高の作品群を展示構成して「小・中・高連携による造形活動」のアンサー作品が展示された。



【アンサー作品のポストカード】

### 企業との連携(全国児童生徒木工工作コンクールへの出品)

昨年に引き続き、地元の木材会社に材料を提供していただいた。各校で児童生徒の思いが込められた作品が制作され、県審査を通った作品は全国大会に推薦された。



## 組織

会長	三浦 真澄	(美里小学校)		
副会長	築瀬 智美	(井川義務教育学校)	都留 賀津人	(男鹿東中学校)
運営委員	菅原 恵	(五城目小学校)	伊藤 晃	(脇本第一小学校)
	近江 和佳子	(天王南中学校)	秋本 謙逸	(羽城中学校)
事務局	中川 努	(天王中学校)		

## 主な事業

総会 (4 / 11)      運営委員会 (5 / 30)

夏休み造形教室 (8 / 8)      教科等研究会 (11 / 7)

子どもの作品の見方研修会・県児童生徒美術展地区審査 (12 / 11)

## 研究会の記録

(1) 研究主題よろこび・わくわく新たな発見～キラリ感じてつなげる, 広げる～

(2) 活動の概要

### ① 夏休み造形教室

◆会場五城目町野鳥の森

◆内容木の实, 木の枝など自然の素材を生かした立体作品の制作

◆対象男鹿潟上南秋地区の小学生

◆所感施設の職員が集めてくださった木の枝やマツボックリなどに加えて, 当会では木材やコルクシート, 動眼などを用意した。参加した子どもたちは, 材料を手にとって自由に発想し, 造形部員のアドバイスを受けながら, 思い思いに作品を完成させることができた。また, 作品と一緒に記念写真を撮ったり, 互いの作品を鑑賞し合ったりする機会を設けることで, 参加者みんなで楽しい時間を過ごすことができた。



### ② 教科等研究会

◆会場秋田県立博物館

◆内容実技研修「藍染め体験」

◆講師学芸主事齋藤千佳子さん

◆所感三角形に折りたたんだ白い布を板ではさみ, 3種類の藍染め液につけて模様をつくる体験をした。参加者は, 液をつける位置

や深さを工夫しながら, 自分なりの模様を作り上げていた。授業で藍染めを取り入れるのは難しいが, 染色やテキスタイルデザインなどに生かせる研修であった。



### ③ 子どもの作品の見方研修会

◆会場潟上市昭和公民館

◆所感県児童生徒美術展地区審査を通して, 題材の指導方法や評価方法などの情報を交換し合った。特に, 小学生と中学生の発達段階による表現の違いや, 同じ題材でも指導の仕方でも表現が変わることなどを研修することができた。



## 組織

会長	鎌田 悟	(秋田北中学校)		
副会長	加賀谷 政広	(岩見三内小・中学校)		
事務局	菊地 有希子	(大住小学校)	渡部 英明	(勝平小学校)
	土門 正佳	(城南中学校)		
幹事	齋藤 未樹	(御野場中学校)	鎌田 政美	(土崎中学校)
会計	小柳 紀恵子	(山王中学校)		

## 主な事業

美術鑑賞研修会「P I C A S O ピカソ版画をめぐる冒険」展 (秋田市千秋美術館／5月16日)

大森山動物園 第40回親と子のふれあい写生大会 (大森山動物園と共催／7月21・22日)

秋田県児童生徒美術展秋田市審査 (泉中学校／12月8日)

クロッキー巡回展：市内各小学校 (審査：保戸野小学校／12月27日)

## 研究会の記録

## ○秋田県児童生徒美術展秋田市審査12／8 (水) 泉中学校

例年どおり、秋田県児童生徒美術展秋田市審査を行った。この審査会は、展覧会の審査であるとともに、指導力向上のための研修の場でもある。多くの会員が参加し、作品について語り合った。

今年は、秋田市内の小・中学校合わせて63校からの作品が出品された。どの作品にも様々な工夫や思いが詰まっているが、各学年それぞれ出品数の30%しか選べない。製作過程や子どもの思いを読み取ることに努めて、会員皆で真剣に話し合いながら、時間をかけて審査が行われた。

## ○水曜研修会2／6 (水) 秋田市教育研究所

「知っているようで知らない『秋田の行事』」～レプリカを使った出前授業体験～

県立美術館より、原田久美子学芸課長、小泉俊貴学芸員、佐々木佳苗学芸員をお迎えして藤田嗣治の作品を用いた鑑賞研修を行った。県立美術館に展示されている「秋田の行事」の解説が聞ける機会とあって、造形会員以外の先生方からの参加もあった。

原田課長からは、藤田嗣治の画業について何点かの作品を用いての説明があった。嗣治が浮世絵に影響を受けたことや、布に対して興味が高く、それが作品に効果をもたらしていることなど、興味深い話を聞くことができた。

次に、小泉学芸員より「秋田の行事」のレプリカを使った解説があった。描かれている内容を「子どもにも分かりやすく」という観点で細かく説明していただき、改めて作品の良さを発見する機会となった。特に「この作品をとおして、子どもたちが地域への関心を高めるきっかけになれば」という言葉が印象的であった。



## 組織

会長	木谷 玲子	(西目小学校)		
副会長	田村 稔	(岩谷小学校)	三浦 直樹	(平沢小学校)
事務局	木内 衛	(本荘北中学校)		
研究部長	関口 琢也	(象潟小学校)		
会計	須田 秀二	(由利中学校)		

## 主な事業

平成30年度造形部総会 4 / 1 2

本荘由利児童生徒美術展 1 1 / 3 0 ~ 1 2 / 3

運営委員会兼全国大会に向けた研修会 6 / 1 2

造形部研修会 1 2 / 7

全国大会に向けた授業研究会Ⅰ西目中 7 / 1 4

全国大会に向けた授業研究会Ⅱ鶴舞小 7 / 1 9

第71回全国造形教育研究大会秋田大会

第63回東北造形教育研究大会

第42回秋田県造形教育研究大会 7 / 3 0 ~ 3 1

その他本荘由利小・中・高等学校の図画工作  
美術の研究授業への参加(各校研究授業等)

## 研究会の記録

### 1. はじめに

各校の教科研究や地区の研究会等で造形部員それぞれが研鑽を積み、指導法の研究や児童生徒の作がどうあるべきかを考察すること、また、教科別研究集会や研修・研究部会・児童生徒美術展・県児童生徒美術展作品審査への参加、特に今年度は全国大会秋田大会に提示する授業とその検討会や準備を通しての大会参加など、様々な形で積極的に研修することを当会の具体的な目標とした。チーム本荘由利・チーム秋田として参加した全国大会は、貴重な研修の場となった。

### 2. 各事業の成果

#### (1) 本荘由利児童生徒美術展(11月30日~12月3日)

由利本荘市文化交流館「カダーレ」で開催した。テーマである「描くこと・つくることが大好き」を反映した個性豊かな作品が多く見られた。昨年同様、立体作品の充実には目を見張るものがあった。

出品作品の中から造形部が目指す作品を「奨励賞」として選出した。各小中学校の教職員及び、造形部員の熱心な取り組みと各校の協力で、運営面・作品の内容共により充実した美術展となった。

カダーレを会場として実施するのは7回目ということで、3日間で1642名の来場があり、多くの方々に見ていただけた。来年度は開催期間や広報活動、今年度実施した会場構成や作品管理の会員常駐を軌道にのせ、さらに地域の方々に親しんでいただける美術展にしていきたい。

#### (3) 造形部研修会(12月7日)

由利本荘市市民交流学習センター多目的ホールを会場に、県児童生徒美術展に出品する本荘由利の作品を選出する公開審査会として行った。26年度から立体作品の審査も行っているが、今年度から各校の出品数を事前に報告してもらうことで審査時間を短縮することができた。また、出品作品の保管も課題であったが、各校の協力により当日の審査後に再度作品を取りに来ていただくことができ、部員の負担を減らすことができた。

造形部員にとっては、児童生徒の作品の傾向・良さ・課題について話し合う有意義な研修の場となり、今後の授業に役立つ多くの情報を得ることができたはずである。

#### (4) 本荘由利小・中・高等学校の図工・美術の研究授業への参加

造形部研究部長より本荘由利の小・中学校における年間の図工・美術の研究授業(要請訪問・教科等指定訪問)の一覧表が造形部員に配布され、一覧表を見て造形部員が希望する授業を参観するようにしている。高等学校会場の参加機会も含め、分科会にも積極的に参加するように勧めている。特に、全国大会で授業提示する先生方をサポートしながら、本研究会として授業参観・検討会を実施できたことは大変有意義であった。

## 組織

会長	門脇 伸子	(桧木内小学校)			
副会長	佐川 由紀子	(西明寺小学校)	菅原 靖	(神岡小学校)	
監事	西野 美佳	(大曲西中学校)	三浦 典子	(大曲小学校)	
研究部	菅原 久実	(美郷中学校)			
幹事	田中 真二郎	(西仙北中学校)	渡邊 真理子	(協和中学校)	
	高橋 涼	(生保内中学校)	三浦 里子	(大曲小学校)	
会計	菊地 伸	(大曲中学校)			

## 主な事業

郡市教育研究会総会：研究テーマ、活動計画  
役員の決定 (交流センター／4月24日)

全国造形教育研究大会秋田大会 参加  
(附属中・明德小など／7月30日～31日)

大曲仙北造形教育研究大会 全国大会の振り返り  
(平福記念美術館 角館／10月25日)

大曲仙北児童生徒美術展 審査及び研修・展示  
(大仙市大曲交流センター／11月30日～12月2日)

冬季研修 秋田県児童生徒美術展 研修・展示  
(湯沢北中学校／1月25日)

事業反省 平成30年度の事業内容について  
(大曲中学校／2月15日)

## 研究会の記録

### ◎全国造形教育研究大会 秋田大会より

今年度も「思い豊かで楽しくてたまらない造形教育を求めて」という研究テーマを継続し、子どもたちが主体的に造形活動に向かえるように題材構想や授業改善についての研究を深めることにした。

7月30日31日、秋田キャッスルホテルを主会場に開催された本大会は、全国各地から600名を超える参会者で盛会だった。新学習指導要領が告示されて初めての研究大会でもあり、授業の方向性や評価に関する話題など議論が深まる大会となった。小学校・中学校の公開授業及び実践発表者は以下の通りである。

### 公開授業 小学校

会場：秋田市立明德小学校  
授業者：佐藤 智美 教諭 (内小友小学校)  
小6年「夢の街・大曲ドリームプラン」

### 公開授業 中学校

会場：秋田大学附属中学校  
授業者：新日 麻衣子 教諭 (神代中学校)  
中3年「音を感じて～ふるさとの音を形に

### 公開授業 中学校

発表者：菅原 久実 教諭 (美郷中学校)  
「思考の流れを記す美術ノートで  
協働的な学びを深める」

### ◎第50回 大曲仙北児童生徒美術展より

期日：12月1日(土)～2日(日) 会場：大仙市大曲交流センター

児童生徒数の減少に伴い、出品点数は減少傾向だが、出品作品は多種多様であり、表現レベルも向上してきている。児童生徒が各々の作品に対し主題(表したいことを)をもち、その主題に向かって試行錯誤している姿が目につく作品が多くあった。また、教師側の作品の見せ方も工夫がされており、空間的にも見応えのある「図工・美術の楽しさ」が伝わる展覧会になったと感じている。来場者も増え続けており、これを機会に造形教育の重要性や楽しさを伝えていけたらと考えている。

今後も大曲仙北の「思い豊かで楽しくてたまらない」授業実践によって制作された作品の数々から、図工・美術の大切さ、楽しさを多くの人に伝えていきたいと考えている。また、展覧会の在り方に関しても引き続き県に対して提言していこうと考えている。





## 組織

会長	佐藤 稔	(横手北中学校)		
副会長	後藤 拓哉	(横手北中学校)	榊原 若樹	(横手明峰中学校)
研究部	柴田 緩子	(平鹿中学校)		
事務局	高橋 真理子	(横手南中学校)		

## 主な事業

全国造形秋田大会の事前授業研修会  
(十文字第一小 / 7月12日)

全国造形教育秋田大会参加・協力  
(秋田市立美術館 / 7月30日～31日)

「つくって遊ぼう」にブース設置  
(横手市旭公民館 / 11月3日)

横手市児童生徒美術展  
(横手駅前交流センターY 2 プラザ)

## 研究会の記録

- **全国造形教育大会秋田大会事前授業研究会** (7 / 12 十文字第一小藤井志津子先生)  
全国造形教育大会秋田大会の授業者である藤井先生の事前授業研究会を行った。本番の授業をイメージした鑑賞授業で、子ども達は造形的な視点で鑑賞することができ、作品から感じ取ったことを活発に発表していた。よりよい授業にするために造形会員で意見を出し合い、全国造形秋田大会に向けての有意義な授業研究会になった。

- **第44回横手市児童生徒美術展**  
(11 / 23 ~ 26 横手駅前交流センターY 2 プラザ)

昨年より中学校1校減になったが、小中学校24校の作品を展示して開催することができた。子ども達の自由な発想と豊かな表現で造形楽しさが伝わる作品が多く見られた。小学生の作品の中には共同作品も数点あり、ダイナミックな大作が会場の雰囲気盛り上げてくれた。児童生徒数の減少によって作品数が減ってきているが、作品のレベルアップはもちろん、展示の仕方などを工夫して、さらに地域の方々に親んでもらえる展覧会にしていきたい。





## 組織

会長	加藤 久夫	(東成瀬小学校)		
副会長	阿部 悦子	(山田小学校)		
事務局	三浦 秀巳	(羽後明成小学校)	井上 晴子	(西馬音内小学校)
研究部	仙道 真理子	(山田 中学校)	佐藤 裕理子	(羽後中学校)
幹事	池田 亜紀	(三梨小学校)		
会計	鈴木 陽	(湯沢東小学校)		

## 主な事業

郡市教育研究会総会：研究テーマ，活動計画  
役員の決定 (湯沢北中学校／4月12日)

秋田県造形教育研究会定期総会  
(教育研究所／5月26日)

秋田県児童生徒美術展 審査  
(湯沢雄勝広域交流センター／11月8日)

秋田県児童生徒美術展湯沢雄勝地方展開催  
(湯沢雄勝広域交流センター／11月9日～11月12日)

会誌「このゆびとまれ Vol. 18」製本・発送  
(湯沢北中学校／1月25日)

事業反省 平成30年度の事業内容について  
(湯沢北中学校 2月中旬)

## 研究会の記録

◎秋田県児童生徒美術展湯沢雄勝地方展より

総出品数291点 (小学校203点・中学校88点)  
のうち，88点を本郡市の優良作品として県に推薦し  
た。平面・立体の出品数および優良数は右の通り。  
今年度の審査講評から特記事項を抜粋する。

(低学年) クレヨンと水彩絵の具，版画などを組み合わせ、伝えたい様子を表すための技法が効果的に使われていた。

(中学年) 題材として木を取り上げた作品が多かったが，指導者の思いが込められ，子どもに合った表現方法がなされていた。

(高学年) 対象をよく観察して丁寧に形を描写している。じっくりと時間をかけて制作したことがうかがえる。

(中学校) これまで身に付けてきた技能を生かし，発想や構想をもとにして

	平 面		立 体	
	小学校	中学校	小学校	中学校
出品数	200	61	3	27
優良数	62	19	0	7
合 計	81		7	



【審査の様子】



### ◎会誌作成

今年度で18巻となる。授業実践を中心に，造形に対する思いなどを自由に表現している。

今年度は，全国造形教育研究大会秋田大会に尽力した3名の先生方の指導案・実践報告，および各

部会の様子を掲載している。オール秋田，郡市会員が総動員で盛り上げた標記大会を振り返りながら，今後もさらに研修を深めていきたい。

【画像は平成29年度の冊子】

# 第 59 回 秋田県児童生徒美術展

話題作一覧

	題名	学校名	氏名	都市	
幼保	くろくんとふしぎなともだち	聖園幼稚園	高橋惟真	秋田	
	うわぁ〜、トンボとバッタを狙ってるぞ!	上宮第一幼稚園	細谷 芯	横手	
小1	にじいろのくじゃく	新山小学校	大友綾乃	本荘由利	★
	あき田えきにこまちがいるよ!	日新小学校	さとうせいじょう	秋田	
	よるのパレード	皆瀬小学校	麻生茉陽琉	湯沢雄勝	
小2	風がきもちいいアサガオこうえん	湖北小学校	かがやゆうま	能代山本	
	オーロラのおしる	秋大附属小学校	よし田り子	秋田	★
	大きなザリガニ	淳城南小学校	ひらつか正むね	能代山本	
小3	あじさいばたけにしゅうごう!	牛島小学校	さわ田あかり	秋田	
	マグマのドラゴン	花輪小学校	佐藤旭途	鹿角	
	深海生物だ	大館南小学校	岩沢陽飛	大館北秋	
小4	まぼろしのしあわせくらげ	東湖小学校	佐々木堇	男鹿潟上南秋	
	みんなで木の実さがし	尾崎小学校	小松心暖	本荘由利	★
	ねえ お話聞いて!	岩城小学校	山崎尊廣	本荘由利	★
小5	こようのベンチとブランコそして木	草木小学校	黒澤悠真	鹿角	
	遊ぶときに見守ってくれる木	山瀬小学校	田村凜太郎	大館北秋	
	お花がいっぱい写真立て	桧木内小学校	座間心暖	大曲仙北	★
小6	はばたく鳥たちのゆめの国	三梨小学校	麻生愛嘉	湯沢雄勝	
	サンゴマツリ	平沢小学校	松村隼汰	本荘由利	★
	雨の森に咲く花たち	泉小学校	井川花	秋田	
中1	色どり豊かなえみロード	川口小学校	山本英未	大館北秋	
	アイスの山で大なわとび	船川第一小学校	近藤花保	男鹿潟上南秋	
	美しい並木がならんだ坂	桂城小学校	一関ちゆら	大館北秋	
中2	6年間友達と通った図書室	鷹巣小学校	明石純香	大館北秋	
	これはなんだ	大内小学校	伊藤羽琉	本荘由利	
	木々が集まる三梨の庭	三梨小学校	藤原茉陽	湯沢雄勝	
中3	ふゆの嵐	森吉中学校	片岡歩希	大館北秋	
	光がさしこむ廊下	常盤中学校	與齊柊斗	能代山本	
	迷い	羽城中学校	菊地綾乃	男鹿潟上南秋	★
中4	泡	将軍野中学校	金森色音	秋田	
	近づく!	鷹巣中学校	成田青空	大館北秋	★
	豊作	東雲中学校	鷺尾謹	能代山本	
中5	海から君へ 君から宙(そら)へ	男鹿南中学校	共同制作	男鹿潟上南秋	
	失望	本荘東中学校	岡本結姫	本荘由利	
	自然に囲まれる自分	八幡平中学校	坂本木葉	鹿角	
中6	キッチン片隅	能代東中学校	渡部真子	能代山本	
	夜鷹のように	天王南中学校	柴田月美	男鹿潟上南秋	
中7	ふるさとの音 ~抱返りの夏~	神代中学校	共同制作	大仙	★

★…立体作品

# 話題になった作品

## 幼稚園・保育園



くろくんとふしぎなともだち

聖園幼稚園 高橋惟真



うわあ～、トンボとバッタを狙ってるぞ！

上宮第一幼稚園 細谷 芯

## 小学生



にじいろのくじゃく

新山小学校 大友綾乃



あき田えきにこまちがいるよ！

日新小学校 さとうせいじょう



よるのパレード

皆瀬小学校 麻生茉陽琉



風がきもちいいアサガオこうえん  
湖北小学校  
かがやゆづま





オーロラのおしろ

秋大附属小学校 よし田り子



大きなザリガニ

淳城南小学校 ひらつか正むね



あじさいばたけにしゅうごう!

牛島小学校 さわ田あかり



マグマのドラゴン

花輪小学校 佐藤旭途



深海生物だ

大館南小学校 岩沢陽飛



まぼろしのしあわせくらげ

東湖小学校 佐々木堇



みんなで木の実さがし

尾崎小学校 小松心暖



ねえ お話聞いて!

岩城小学校 山崎尊廣

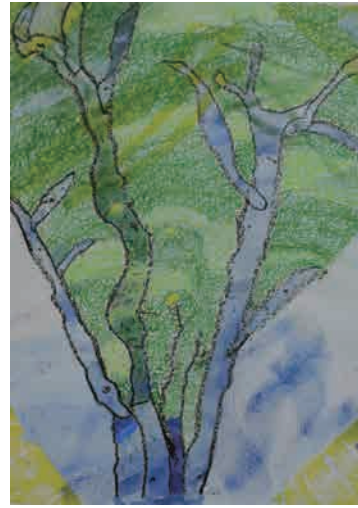




草木小学校

黒澤悠真

いろいろな木を植えてみる



山瀬小学校

田村凜太郎

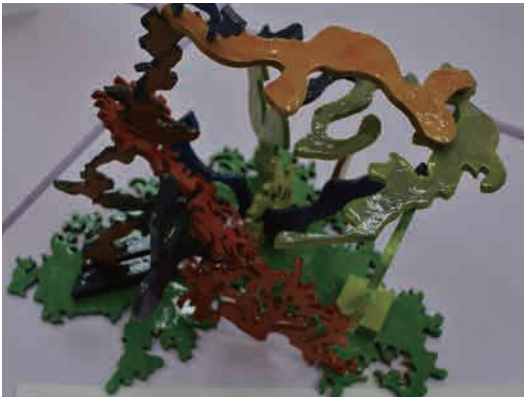
遊ぶときに見守ってくれる木



お花がいっぱい写真立て  
桜木内小学校 座間心暖



はばたく鳥たちのゆめの国  
三梨小学校 麻生愛嘉



サンゴマツリ  
平沢小学校 松村隼汰



雨の森に咲く花たち  
泉小学校 井川花



色どり豊かなえみロード  
川口小学校 山本英未



アイスの山で大なわとび  
船川第一小学校 近藤花保



美しい並木がならんだ坂  
桂城小学校 一関ちゆら



6年間友達と通った図書室  
鷹巣小学校 明石純香



これはなんだ  
大内小学校 伊藤羽琉

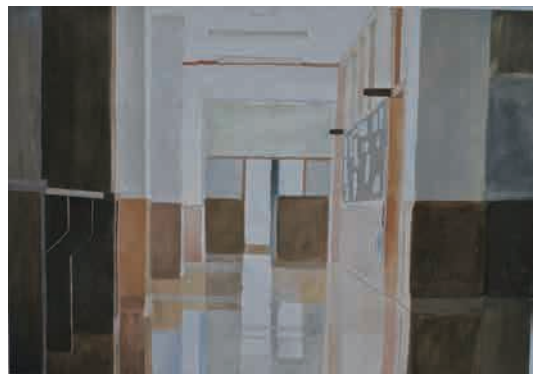


木々が集まる三梨の庭  
三梨小学校 藤原茉陽

中学生



心ゆの嵐  
森吉中学校 片岡歩希



光がさしこむ廊下  
常盤中学校 與齊柊斗



迷い  
羽城中学校 菊地綾乃



泡  
将軍野中学校 金森色音





鷹巣中学校  
近づく！

成田青空



豊作

東雲中学校

鷲尾謹



海から君へ 君から宙(そら)へ  
男鹿南中学校  
共同制作



失望

本荘東中学校

岡本結姫



自然に囲まれる自分

八幡平中学校

坂本木葉



キッチンの片隅

能代東中学校

渡部真子



夜鷹のように

天王南中学校

柴田月美



ふるさとの音 ~抱返りの夏~

神代中学校

共同制作



## 幼稚園・保育園

多様な題材に取り組ませ、これまでにない新鮮な表現が多く見られた。子どもたちに、表したいものや表し方を考えさせることにより、より表現の幅が広がっていると感じた。また、背景を無理に描かせることなく、表現したい気持ちを子どもたち自身からうまく引き出すことができるように、十分配慮して指導されている作品が多かった。

特にすばらしかった作品は、お話から受けたイメージを素直に、そしてのびのびとしたタッチで描いていて、表しているものへの愛情が感じられた。もう一作品は、主役の表情、動きをよく観察し、瞬時の動きを捉え、力強さを表現することができていた。クレヨンと絵の具の組み合わせも効果的であった。

## 小学校1・2年

画面いっぱいのにびのびと描かれた作品ばかりで、子どもたちのエネルギーが伝わってきた。色の組み合わせを工夫したり、混色により色を作り出したりしている作品が多く、低学年なりに自分の色を追求しようとする気持ちを感じた。また、身近材料を作品に取り入れるなど、素材に工夫の見られる作品も多かった。

## 小学校3・4年

平面の作品は、にじみやぼかし、コラージュなど、多様な表現方法を工夫し、想像力豊かな世界を表している作品が多くあった。

山瀬小4年田村凜太郎さんの「遊ぶときに見守ってくれる木」は、空に向かって広がっていく枝、葉の間から差し込む光や風が独創的に描かれ、見る人を魅了する作品となっている。

立体作品では、身近にある材料を組み合わせ、楽しく作っている様子がうかがえる作品が多くあった。

尾崎小3年小松心暖さんの「みんなで木の実さがし」は、木の廃材や木の実の組み合わせ方を工夫し、楽しい表現となっている。みんなで楽しく木の実を探している様子が伝わってくる作品である。

## 小学校5・6年

高学年は、水彩、版画、デザインなど、多分野にわたって表現していた。小学校の各学年で体験した材料（画材）や技法等を取り入れて制作している様子がみられた。

特に、版画において、表現する楽しさの伝わってくる作品が多かった。彫り進み版画では、版の重なりを考えた上で、偶然できた色の効果や美しさがみられ、興味深い作品のなっていた。

立体作品では、空間表現をどのように行うかを意識し、強い思いが形となって表れている作品が多かった。素材の組み合わせがマッチして目をひく作品もあり、表したいことが素直に表現されていた。

風景画の作品では、描こうとしているものをよく観察し、集中力を持続しながら一生懸命に描いている作品が多かった。

## 中学校

作者自身が身の回りの事象や様々な対象を自分の感情を働かせて捉え、表したいという思いを強くもって作品が多かった。自ら生み出した「表したい」という強い思いをどんな形や色でどのように表現していくかについて、よく考えられていた。また、これまでの経験や学びを生かし、試行錯誤を重ねながら主題を追求する過程で、表現技巧も高まり、創造性豊かな作品が生み出されていることを感じさせられた。このような制作の過程を経た作品は、インパクトがあり、見るものを引き付け、心に訴える力をもっている。そんな作品に多く出会うことができた。